

海上安全環境部

◇簡易プロフィール

- ・所属、職種
海上安全環境部
船舶検査官
(船舶系技官)
- ・入局年月日
平成27年4月1日



◇略歴

- 平成27年04月01日 九州運輸局 長崎運輸支局
佐世保海事事務所 船舶検査官
- 平成28年09月12日 九州運輸局 海上安全環境部
船舶検査官
- 平成30年04月01日 海上保安庁 装備技術部 船舶課
船舶工務官 (出向)
- 令和04年04月01日 現職

◇現在の業務内容

日々造船所に出向き、就航中の船舶が海上という過酷な環境における航行に耐えうるかを判断するために実物を検査しているほか、新造船や船舶用機器の凶面審査を行っています。船舶の運航管理会社の安全体制の構築に関する審査も行っています。

◇入局したきっかけや、理由は何ですか

学生時代は船員を目指して船舶や航海術等を学んでいましたが、学校の授業の中で船舶検査官の存在を知り、仕事内容を調べていく中で船舶の安全性確保に行政官として携わりたいと考えるようになりました。

また、船舶を検査という観点から多角的に見ることができるとも魅力に感じ、船舶系技官を目指しました。



◇印象に残っている仕事は なんですか

わが国の国籍を有する船舶やこれに備え付けられる機器などは国内だけでなく、海外でも製造されています。

関東運輸局は海外における船舶検査を担当している全国で唯一の運輸局で、これまで3回の海外出張を経験しました。

特に印象に残っている仕事は英国での旅客船の検査です。現地の造船所の技師とコミュニケーションをとりつつ、限られた滞在期間で検査をこなすことは大変でしたが、検査を完了させ、日本に帰国したときは大きな達成感を感じることができました。

◇国家公務員を目指す方へのメッセージ

国家公務員というと、デスクワークを想像されると思いますが、我々船舶系技官は現場での仕事を中心です。就職後ギャップが生じないように、希望する官庁の仕事をよく調べて就職先を決めると良いと思います。

船舶系技官の仕事に興味があってもこれまで船舶になじみがないという方でも、船舶に関する研修プログラムが用意されており、必要な知識は入省後に身につけることができるため、安心してください。

私のメッセージを読んで、船舶系技官、関東運輸局が希望官庁の候補になれば嬉しい限りです。

共に働ける日が来ることを心待ちにしております。

